

在宅医療懇話会において 意見を聴取する 基金事業(案)の概要

- ① 地域包括ケアシステム構築支援事業(R1新規事業)
- ② 在宅医療普及促進事業
- ③ 医科歯科連携推進事業

基金事業① 地域包括ケアシステム構築支援事業 (R1新規)

令和元年度予算額 13,961千円

1. 事業目的

(地域包括ケアシステムの構築期限である) **2025年度までに、在宅医療の提供体制を構築**

市町村の課題 **医療分野についてノウハウが少なく、何から取組んでいいのかわからない市町村が多い**

○医介連携の推進方法に関するもの

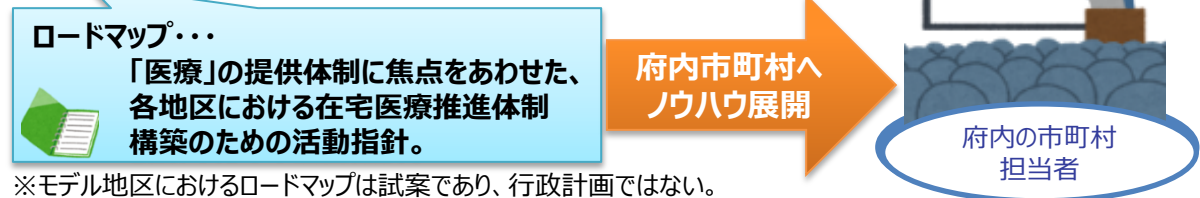
- ・ 地域課題、あるべき姿の検討・共有、評価指標の設定 など

○資源の把握・有効活用に関するもの

- ・ 地域の在宅医療資源についてデータの見方、分析方法、有効活用に関する検討 など

2. 事業内容

在宅医療の推進に向けた**モデル3地区のロードマップ**※作成を個別に支援し、作成手法を府域全体に展開



モデル地区 モデル地区に対し、ロードマップの作成を個別に支援

地区	構成市町村	選定理由
泉州地区	泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町	地区医師会（泉佐野泉南医師会）管内に多数の市町村があり、市町村間を跨いだ取組みが必要
中・南河内地区	柏原市、羽曳野市、藤井寺市	既存の広域連携（消防組合等）があり、医療圏域を超えた整理が必要
豊能地区	池田市、豊能町、能勢町	単独の地区医師会（池田市医師会）であるが、2町については日常生活圏として兵庫県（川西市）とのかかわりが深く、府県連携について整理が必要

他地区 「ロードマップ作成研修会」等、ロードマップ作成のノウハウ展開を実施

基金事業② 在宅医療普及促進事業 (29から継続)

令和元年度予算額 9,600千円

1. 事業目的

在宅医療に携わる医療従事者等の理解促進

患者や家族が、医療従事者から適切な情報提供(説明)を受け、在宅医療の選択肢を知り、意思決定できる状態をめざす

2. 補助対象事業者

大阪府医師会、大阪府内の郡市区医師会、大阪府内に所在する医療法第1条の5に定める病院

3. 補助対象事業

在宅医療に携わる医療従事者等を対象に、ACPの理解促進研修を行う事業 ※R1年度からACP関連の理解促進に重点化

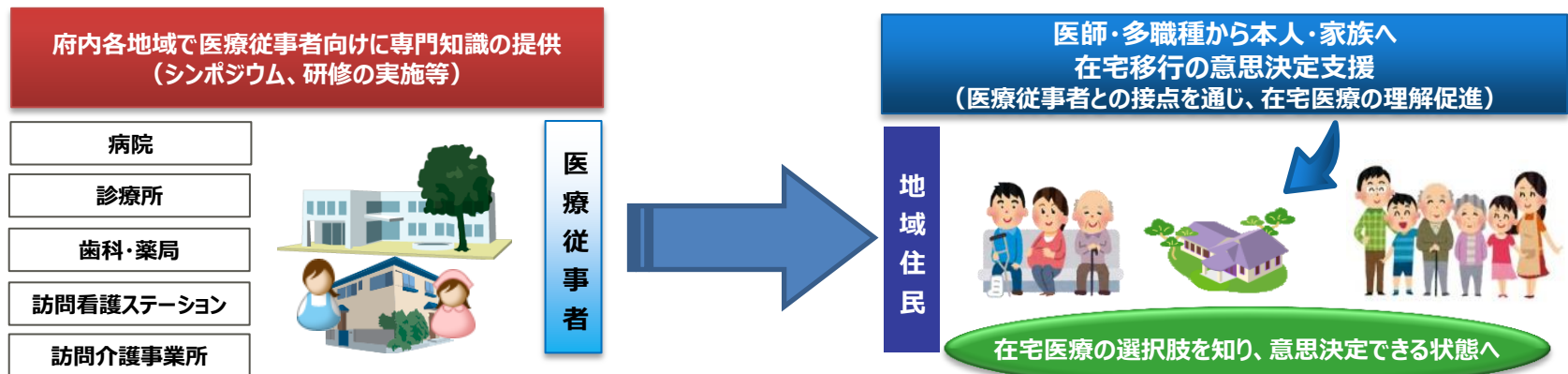
- ・ガイドライン、ACPの概要、あるいは実践(参考: カテゴリー 例)のいずれかに関する研修。
- ・ACPを研修の主テーマとする場合は、在宅医療関係(在宅医療概要、退院支援、地域連携、多職種連携、緊急時対応、各疾病・処置等)の内容を併せ行うことは可。

「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」とは・・・
自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組

4. 補助基準額(予算総額: 9,600千円の範囲内)

<参考> H30予算額4,800千円・実績 15地区医師会+ 8病院

400千円(上限) / 1か所 補助率10/10 ただし、応募多数の場合は、補助額を調整



【事業概要(イメージ)図】

基金事業③ 医科歯科連携推進事業 (30から継続)

令和元年度予算額 58,798千円

【目的】

がん患者が継続的に口腔管理が受けられるよう、がん患者の療養に携わる医療機関スタッフの口腔ケアに対する理解の促進、地域病院と歯科との連携推進を図る。

【事業概要】

1 院内スタッフの口腔ケアへの理解促進

病院へ地域医科歯科連携推進員※1を派遣する。

・ 歯科口腔に関する専門的助言

院内での口腔ケア相談

周術期における口腔機能評価・導入支援

院内カンサーボードへの参画 など

・ 院内スタッフの人材育成支援

病院スタッフ向け口腔ケア研修の実施

事例集約 など

2 地域病院との連携推進

地域医科歯科連携推進員による連絡調整を行う。

・ 病院（医科）と歯科診療所との連携

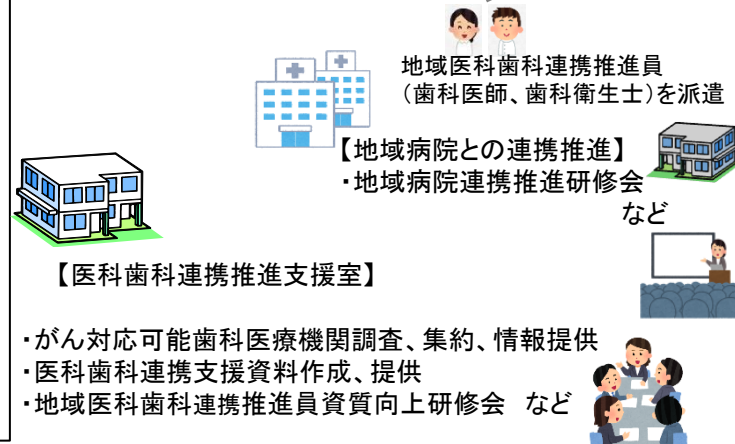
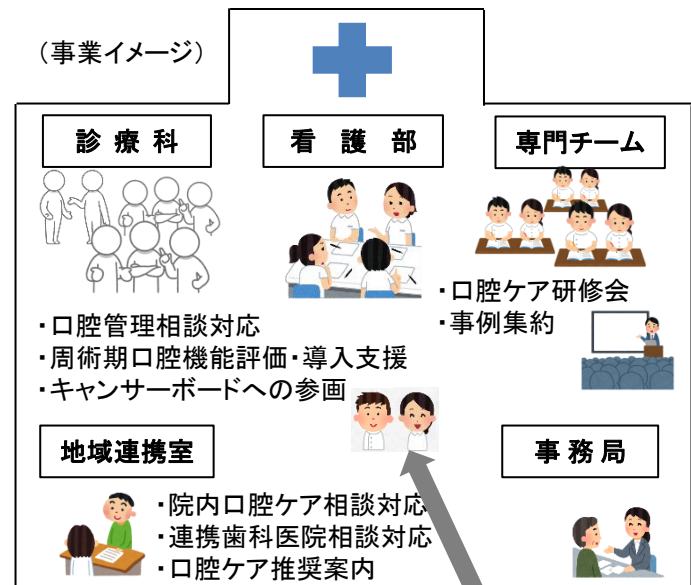
・ 地域病院連携推進研修 など

3 歯科医療従事者の資質向上

4 医科歯科連携推進支援室の設置

・ 病院と歯科医療機関との連絡調整（医療圏を超える事案など）

(事業イメージ)



※1 地域医科歯科連携推進員

在宅歯科医療連携体制推進事業にて研修を受講し、がん患者等への口腔機能管理や連携手法を学んだ歯科医師・歯科衛生士のうち、歯科医師・歯科衛生士として10年以上実務経験があるなど、本業務を行うにあたって十分な経験等を有する者。2次医療圏（大阪市は基本医療圏）ごとに配置（11か所予定）。

府民向け啓発媒体の作成

歯科診療所では…

むし歯、歯周病、入れ歯、粘膜の状態、お口の機能など、お口全体をチェックします。

お口の衛生管理

がん治療での様々な合併症の原因となるお口の中の細菌を減らすことが重要!



がん治療を支える お口のケア

お口の機能や衛生状態を整えて、お口のトラブルを予防しましょう。



がん治療を始める前に
歯科を受診
してください。



大阪府

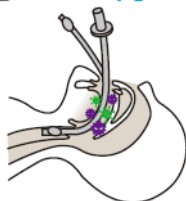


一般社団法人
大阪府歯科医師会

Point

手術までにお口の環境を良くすることが大切です。

- むし歯や歯周病などでお口の衛生状態が悪いと口内の細菌によって術後、肺炎を引き起こすことがあります。



- むし歯や歯周病があると全身麻酔時に歯が折れたり抜けることもあり危険です。

Point

お口のケアで抗がん剤治療時の口内炎などのトラブルを減らすことができます。

- 約2人に1人の割合で口内炎の症状が現れます。



- 口内炎によって十分に食べられないことで栄養状態の悪化を起こすこともあります。

府内がん診療拠点病院等で活用